

教授系列と指導方略の類型化に基づく市民参加型講座のための コーステンプレートの設計および試作

Development of course templates based on typified instructional sequencing and strategies for citizen e-learning community.

村嶋 亮一 中野 裕司 鈴木 克明 北村 士朗 根本 淳子

Ryoichi MURASHIMA, Hiroshi NAKANO, Katsuaki SUZUKI, Shiro KITAMIRA, Junko NEMOTO

熊本大学大学院 教授システム学専攻

Graduate school of Instructional Systems, Kumamoto University

〈あらまし〉 市民参加型による生涯学習の分野において、教育の専門家ではない一般の市民講師が、eラーニングコースを手軽に開発し提供できるよう、類型化された教授系列と指導方略に沿って学習活動の組み立て方や指導の進め方等を簡単に整理できるコーステンプレートを試作した。コーステンプレートは、くまもとインターネット市民塾で開催されているいくつかのコースに適用することにより形成的評価を行い、その効果の検証と改善に取り組んだ。

〈キーワード〉 インストラクショナルデザイン、テンプレート、生涯学習、Moodle

1. はじめに

市民参加や協働といった考え方は、今日、地方自治体を中心に、まちづくりや環境政策等の分野で広がりを見せつつあるが、生涯学習の分野においても、一般市民や市民団体等が、学習プログラムの企画・立案・運営に主体的かつ積極的に取り組むケースが増えている。我々は、このような市民参加型による生涯学習の分野において、教育の専門家ではない一般の市民講師が eラーニングコースを手軽に開発するためのツールとして、インストラクショナルデザインに基づくコーステンプレートを試作し、くまもとインターネット市民塾（村嶋 2005）のいくつかのコースにおいて形成的評価を行った。

コーステンプレートの設計に不可欠な分析作業として、市民参加型講座の分類と学習領域の整理、および梶田らによる先行研究（梶田 1983）に基づく分類ごとの学習課題の分析と教授系列、指導方略の設計を行い（村嶋 2008）、その結果を踏まえて、分類パターン別にコーステンプレートを開発した。

2. 試作したコーステンプレートの特徴

市民参加型講座を、コミュニティ型、社会参画型、ライフアップ型の三種に分類し、それぞれに対してコーステンプレートを開発した（表1）。

表1：コーステンプレートの種類と特徴

【コミュニティ型】

教授系列上の特徴	特定のテーマに関連した参加者の交流をスパイラルに深めていくステージを中心に系列化
指導方略上の特徴	興味や関心、経験を共有するためのフリートーク、フィールドワーク、体験学習、成果発表
その他の特徴	活動への積極的な参加を促すような語りかけ

【社会参画型】

教授系列上の特徴	参加者個人の問題意識を核として意思や価値を段階的に形成していくステップを中心に系列化
指導方略上の特徴	解決すべき課題の発表、課題をテーマにしたグループディスカッション、成功/失敗事例から学ぶケーススタディ、実地訓練、成果発表と評価
その他の特徴	課題解決のモチベーション向上を意識した説明や表現

【ライフアップ型】

教授系列上の特徴	知識や技能を修得するレッスンを階層的に積み上げながら系列化（高度化、詳細化、複雑化）
指導方略上の特徴	書籍やウェブ、ビデオ等を使った自己学習、練習課題、訓練、テスト、アセスメント、学習成果のまとめと発表、学習者間での指導

3. コーステンプレートの実装と形成的評価

コーステンプレートは、オープンソースのCMSである Moodle 上に実装し、Moodle のバックアップ/リストア機能を用いることで、実際のコース用に複製して利用する方式を採用した。一例として、コミュニティ型のコーステンプレートを図1に示す。



図1: コーステンプレートの実装例 (コミュニティ型)

試作したコーステンプレートを使用し、既存の市民参加型講座を再構成することにより、サンプルコースの作成、および第三者によるコーステンプレートの形成的評価を行った。評価ポイントとして「学習課題の系列化」「指導方略の選択」「学習者への注意喚起、動機付け」「学習障害要因」「コース作成上の不具合」の5点を取り上げ、結果としてユーザビリティの改善や講座作成時のアシスト機能(手順やヒントの提示等)、学習者の動機付け方法などに関する具体的な評価と改善案を得ることができた。コーステンプレートを適用して再構成したコースの例を図2に示す。



図2: コーステンプレートを適用したコースの例

4. まとめと今後の展望

eラーニングを活用した市民参加型の講座における教授系列とレッスン計画のデザインを支援するコーステンプレートを試作し、Moodleを使った実装と形成的評価を行った。

今回試作したコーステンプレートは、Moodle上でコースを設計し構築するための汎用的な型となるものであり、このコーステンプレートを複製し必要な箇所を書き換えることにより、市民参加型講座を効率的に開発することが可能となった。市民参加型講座を、その目的に応じてパターン化したモデルはこれまでになく、講師がそのつど手探りで講座の設計や開発を行っていた状況が、このコーステンプレートにより打開され、市民参加型講座の開発効率や品質が改善されることが期待できる。

今後は、今回実施できなかった社会参画型のコーステンプレートの評価と改善に加え、今回試作したコーステンプレートの有効性を実証するため、コーステンプレートを用いた場合とそうでない場合に分けて、第三者による検証を行う実験タイプの研究も取り組みたい。

また、将来的には、定型フォーマットに必要情報を入力するだけで、コースの基本形が完成する「市民参加型eラーニング講座制作支援ツール」として実装し、LMS上にプラグイン形式で導入可能なテンプレートとして提供したいと考えている。

参考文献

- 村嶋亮一, 吉田光宏, 喜多敏博, 松葉龍一, 安浪誠祐, 福岡壽夫, 太田浩樹, 西龍史, 古里雅博, 中野裕司 (2005) Moodle の市民塾における活用—くまもとインターネット市民塾—, コンピュータ & エデュケーション, 19: 10-17
- 梶田叡一 (1983) 教育評価, 有斐閣双書: 111-146
- Gagné, R. M., Wager, W. W., Golas, K. C., Keller, J. M. (2007) 鈴木克明・岩崎信 (監訳) インストラクショナルデザインの原理, 北大路書房
- 村嶋亮一, 中野裕司, 根本淳子, 北村士朗, 鈴木克明 (2008) インターネット市民塾のIDコーステンプレート作成に向けたコース分析, JSiSE 第33回全国大会講演論文集: 100-101